平成 25 年度 学校評価シート

学校名:和歌山県立和歌山工業高等学校 学校長名: 小山 宣樹 印

目指す学校像 ・ 育でたい生徒像 ○ 和歌山県の伝統ある工業高校として、職業教育のリーダ的役割を果たし、社会に貢献する学校。○ 校訓である「質実剛健」に相応しい、健全な自主自立の精神や勤労を尊重し、国内外の産業発展に貢献できる生徒。

年度の重点目標

(学校の課題に即し、 精選した上で、具体 的かつ明確に記入す る)

- 1 進路保障に向け学力の充実を図ると共に、国際人の育成を行う。
- (学校の課題に即し、 2 基本的生活習慣の確立と、問題行動の防止に努める。
- 的かつ明確に記入す 3 広報の充実と地域との連携を深め、特色ある中核校を目指す。
 - 4 適正かつ円滑な校務運営の努める。

達	Α	十分に達成した	(80%以上)
	В	概ね達成した	(60%以上)
成	С	あまり十分でない	(40%以上)
度	D	不十分である	(40%未満)

学校評価の結果と改善方策の公表の方法

年度末に発行する学校だよりに学校評価 の結果を掲載するとともに、本校ホームペ ージでも公表する予定である。

- (注) 1 重点目標は3~4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。
 - 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

			I	自己	評 価		
	重点目標				年度評価 (平成 26 年 2 月 21 日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善方策
1	基礎学力の不足等で 第1希望の進路に進め ていない生徒がいる。	○第1次合格率向上○実力テストや検定等の成果○補習等の状況○語学教育の充実		○実力テストや検定の結果	 ○1次合格率 64.4% (前年度 66.5%)。年度末には100%達成。 ○実力テスト(5 教科平均)1年 49.42点、2年 47.42点(前年度 50点)。 ○資格取得や成績向上のため補習等について、各科や教員独自に取組み成果を挙げている。 ○授業のほか、英語等に触れる機会ができるように工夫している。 A評価 25.9% B評価 64.7% 	Α	基礎学力の充実を図るとと もに、就職試験に関し、面接 等指導方法の一層の創意工夫 に取組み、1次合格率向上に つなげたい。
2	家庭との協力関係の 希薄さがあり、基本 的生活習慣の乱れが 続いている生徒がい る。	○家庭との連携強化○基本的生活習慣の定着 状況○問題行動への対策状況	○日常生活の改善で、遅刻・ 欠席の減少を図る。○触法行為等、問題行動の防 止に努め、規範意識の向上 を図る。	○特別指導の件数 (前年比 10 %減)	○3者面談は各学期末に各クラスで実施している。 ○特別指導は、前年度と比較し、やや増加した。 ○校門や街頭で地域の方の協力を得ながら指導している。 ○スクールカウンセラー相談等、教育相談体制も充実している。 A評価 14.1 % B評価 62.4 %	В	全職員で行う校内巡視等計画し、校内風紀向上に努力したため、指導件数が増加した。 これを全校生徒に規範意識等向上させ、総合的に校内風紀が向上する取組みにしたい。
3	小・中学校や企業等 に、本校の特色や良さ が十分伝わっていない。	状況 ○広報紙の発行や、マス	を積極的に活用し情報発信 に努める。 〇大学や企業等との連携を強	数やアンケートの結果 ○小・中の体験学習の結果	○学校開放週間等来校者数 62 名であった。○学校説明会(体験学習)には、県内外から中学生や保護者 等 862 名の参加があった。○新聞、テレビを通じ広報できた(クラブ活動、各科の取組、 創立 100 周年記念招待試合ほか)。A評価 15.3 % B評価 61.2 %		マスコミ等通じ広報に努力 しているが、保護者より広報 の充実の意見があり、工夫を 要する。
4	校務等の多用化が 進み、対策が必要で ある。	○文書事務の平準化継続○会議等のさらなる効率化	時間短縮に努める。	○会議の回数減や時間の短縮の結果○文書事務改善の成果	○職員会議24回(前年度26回)、職朝時のメモの活用が定着し時間 短縮に大きく成果を上げた。 A評価21.2% B評価58.8%		工夫と努力により、回数減 に取組めているので、今後も 継続して続けていく。

学校関係者評価

平成 26 年 2 月 21 日実施

学校関係者からの意見・要望・評価等

〈保護者評価、学校評議委員評価〉「全国にさきがけて新しい教育方法に取組んでいること高く評価できる」「学校内がとてもきれいである」「担任の先生がとても優しい」「学校で取得可能な資格を知りたい」「学校の出来事を知らせてほしい」「学級活動の様子を教えてほしい」ほか、多数のご意見を頂戴しました。今後、一層の情報公開等、学校関係者と緊密に連携をとり、他に見られない学校運営に取組みたい。

評価	保護者	学校評議員	前年度
Α	26. 9%	61.3%	25%
В	42. 7%	34. 7%	31%
С	24%	4%	23%

<生徒評価>

前年度に続き、ほとんどの生徒が、 この学校を卒業して自分の進路に展望 が持てると答えている。